

日本学研究论丛

第五辑

第五辑编委：于日平 邵建国 张慧芬 鲍显阳
熊文莉 徐琼 李所成



日本学研究论丛

第五辑

第五辑编委：于日平

邵建国

张慧芬
鲍显阳

熊文莉

徐琼

李所成



图书在版编目(CIP)数据

日本学研究论丛·第5辑：日文／于日平等编著，—北京：外语教学与研究出版社，2008.10

ISBN 978-7-5600-7901-1

I. 日… II. 于… III. 日本—研究—丛刊—日文 IV. K313.07

中国版本图书馆 CIP 数据核字 (2008) 第 161873 号

出版人：于春迟

责任编辑：刘军

封面设计：崔丹丹

版式设计：孙莉明

出版发行：外语教学与研究出版社

社 址：北京市西三环北路 19 号 (100089)

网 址：<http://www.fltrp.com>

印 刷：北京京科印刷有限公司

开 本：650×980 1/16

印 张：25.25

版 次：2008 年 11 月第 1 版 2008 年 11 月第 1 次印刷

书 号：ISBN 978-7-5600-7901-1

定 价：48.00 元

* * *

如有印刷、装订质量问题出版社负责调换

制售盗版必究 举报查实奖励

版权保护办公室举报电话：(010)88817519

物料号：179010001

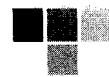
前 言

为了纪念中日邦交正常化35周年，日语系于2007年9月22日举办了“北京外国语大学2007北京论坛中日教育文化国际研讨会”，有来自日本和国内各大学的近百名教师、博士生和硕士生参加了本次研讨会，并发表了各类论文70余篇。为了让日语界各位同仁分享研究成果，以助于中国的日语教学和研究不断发展，我们从中选出41篇出版了本论文集。

2007年是中日关系史上值得庆贺的一年。继安倍晋三前首相的“破冰之旅”之后，温家宝总理进行了“融冰之旅”，融化了横在中日交流之路上的冰川。福田康夫首相上任不久又实现了“迎春之旅”，紧接着胡锦涛主席的“暖春之旅”，提出了建立中日两国战略互惠关系的目标，为今后两国关系更广阔、更深入的发展指明了方向。国家领导人的互访不仅打破了持续多年的政治交流中断的僵局，改变了两国不断互相猜忌、无谓地加深互不信任的恶劣状态，还从建立友好邻邦、谋求共同繁荣的战略高度，提出了两国友好关系发展的前景，这是非常令人欣慰的事。

同样，2007年对北外日语系来说也是一个收获的年份。在多年的努力下，日语系和日本学研究中心通力合作，申请并成为北京市日语语言文学重点学科和全国日语语言文学重点（培育）学科。在2008年4月的教育部本科评估中，日语系各项工作优秀，得到了专家们的一致好评。这不仅说明日语系具有一流的教学和科研水平，更重要的是表明了日语系有一支热爱教育事业、业务精湛、工作兢兢业业的优秀的教师队伍。

我系教师林为龙教授和陶振孝教授于2006年退休。两位教师为日语系的建设和发展做出了很大的贡献，可以说，日语系的辉煌今天正是因为有了林为龙教授和陶振孝教授等前辈们的长期不懈的努力和奋



斗才取得的。在此，我谨代表日语系向两位教师表示衷心的感谢。

教学需要科研作为不断发展的动力，科研需要教学作为对象和目标。日语系全体教师紧紧把握教学和科研互相促进的大方向，正在为创造更辉煌的明天而奋斗着。我们将定期举办这样的学术研讨会，通过交流吸收国内外的先进经验和研究成果，不断提高我们的教学科研水平，为中国的日语教育和日本研究做出贡献。我们期待着新老朋友在下一次会议上继续交流经验，切磋技艺。

本次研讨会得到了日本卡西欧上海有限公司的赞助，在此表示感谢。

日语系主任 于日平

2008年7月29日

目 录

言語教育

慰めことばの日中対照	張韶岩 馮靜	3
「敬語表現」に対する指導をめぐって	王 萍	11
中上級レベルの日本語教授法について	何蔚泓	20
字訓専用の漢字の造語機能について		
——常用漢字を中心に	紀曉晶	29
中日同形語の意味差		
——「愛人」を中心に	杜 娟	40
『明六雑誌』の一字漢語について	邵艷紅	54
日本語文章の結束性		
——文法的手段、語彙的手段、レトリック 的手段を中心に	鄭憲信 李占軍	69
基本的な連語・慣用句の選定とその特徴	朱京偉	80
同時通訳授業の目標設定と指導方法について考える ... 徐 瓊	101	
詩歌における言語内翻訳の可能性への考察		
——『チョコレート語訳 みだれ髪』(俵万智著) を例にして	朱衛紅	110
魯迅の留日期間の翻訳作品に用いられた日本語		
借用語について	常曉宏	118
中国人学習者と日本語母語話者の依頼ストラテジーへの一考察		
——依頼のメールを例に ... 王玉明 孟慶榮 唐曉煜 聞芸	129	
文体の使用状況から見る初級会話教育の問題点		

——ロールプレイ分析に基づいて	
..... 聞芸 唐曉煜 孟慶榮 王玉明	137
中日言語表現の相違及びその翻訳について	鮑顯陽 146
現代中国語の“～的”と日本語の「～的」の影響	
関係について 楊超時 156	
自然発話データに基づく日本語「戻し付きの末尾上げ」	
の観察 定延利之 168	
接頭辞「お」と「ご」について 倪 霞 176	
中、日の主語を修飾する形容詞移動に関する対照 鄭丹青 184	
日中存在表現の構文について	
——認知言語学の立場から 李所成 193	
中国語を母語とする日本語学習者の作文中	
における「か」の欠落について 原誠士 202	
「なんか」の用法について	
——フィラー化の過程 小出慶一 211	
表現における自他動詞の使い分け	
——出来事に対する扱い方に見られる	
自動的表現と他動的表現 于日平 221	
日本語教育と学生の学習ストラテジー	
能力の育成について 張慧芬 234	
家庭訪問における日中あいさつ言語行動	
についての比較研究 施 晉 243	
試験問題の作成と分析 趙曉柏 252	
日本語精読授業に関する実態調査 段 帆 263	

文学

『懐風藻』詩序の出典研究

——下毛野虫麻呂と釈道慈の詩序を中心に 馬 駿 275

誰が日本を代表できるのか

——坪内逍遙と二葉亭四迷 関水冰 282

日本现代文学如何讲述诺门罕战役 熊文莉 289

『万葉集』から見た日本人の死生観 江燕玲 297

夏目の作品『吾輩は猫である』に見られる

「笑い」の構造 林為龍 302

「城之崎にて」の文章構成 池 睿 314

芥川の中国旅行記をめぐって

——間テクスト性の角度から 応 傑 322

『金色夜叉』の海外受容について 張秀強 330

伝統への反撥

——『世界の終わりとハードボイルド・

ワンダーランド』論 楊炳菁 339

『浮雲』から見る男性の放浪と女性の放浪 顧 蕎 348

社会文化

日本における公共事業資金増大の原因と

その問題点について 邵建国 359

フリーターと勤勉な日本人像の崩壊 焦毓芳 366

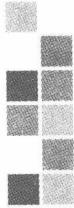
日本における老人医療およびその改革について 張建華 375

「女人禁制」について

——山岳信仰を中心に 湯 麗 382

夢窓疎石と政治権力との関わりかたについて 孫容成 389

• 言語教育 •



慰めことばの日中対照

中国海洋大学 張韶岩 青島大学 馮靜

1. 始めに

慰めことばについて、日本語では、関山（1999）は、日本人英語学習者が英語で慰めのことばをかける際にみられる母語からの語用論的転移と、学習者の英語力との相関を、発話の量という観点から考察した。中国語では、王永娜・李軍（2003）は、中国語の“安慰”的ストラテジーを、①使用慰安套語②満足情感要求③分析問題、説明道理④提供方法或允諾帮助という4点にまとめた。ただし、社会言語学的原因（場のフォーマリティ・上下関係・親疎関係・接触場面のような人間関係など）を考慮に入れなかった。

筆者の知っている限りでは、日中対照的な観点から検討するものがめったにない。そこで、本研究は、具体的な場面を設定し、日中の「慰める」の発話の特徴について、アンケート調査によって、社会言語学的な考察をした。

2. 「慰める」の定義について

先行研究の「慰める」の扱いを見てみよう。関山健治（1999）は、「慰める」の発話行為を考察しており、その定義を、不幸や困難に直面している相手に対して、それらを緩和することを目的として行う発話行為を、「慰め」と定義する。これには、相手の不幸や困難を理解する内容の発話（同情、共感）と、相手を勇気づけ、困難や不幸から立ち直る手助けをする内容の発話（激励）が含まれるが、ここで

は、これらを一括して論じる、とされている。

王永娜・李軍（2003）は、中国語の「慰める」にあたる“安慰”的定義を、“安慰是指当事人遭受不幸、挫折而处于忧伤、气愤、痛苦等消极情绪状态时，说话人为改变其消极情绪所实施的一种言语行为”とされている。

会話では、一見して慰めないような発話行為が、実際には相手に反省させたり前向きにさせたりする役割を果たしているのも見られる。そこで、辞典の語釈や先行研究を踏まえ、本稿では、①人を励ます、元気づける、力づけること②なだめる、いたわる、心を静めること③話し手としては相手を慰めようとするすべての言語行動を「慰める」行為とする。

3. 調査の概要

筆者はそれぞれ日本人と中国人にアンケート調査を実施した。調査期間は大体2005年6月から2006年3月までである。日本語母語話者に日本語版の調査票を、中国語母語話者に中国語版の調査票を配布した。調査内容は日本語の教科書の会話を参考に、慰め言葉を使うべきところを空欄にして入れてもらった。さまざまなカテゴリーにそれぞれどんな慰めのストラテジーを使うのかを知るために、会話の場面を設定した。この四つの場面はつぎのとおりである。

- 1) 試合に負けた友人に
 - 2) 就職の面接試験を心配している友人に
 - 3) すりにすられた友人に
 - 4) 好きな人にふられた友人に
- インフォーマントのことは、表1のとおりである。

表1 インフォーマントについて

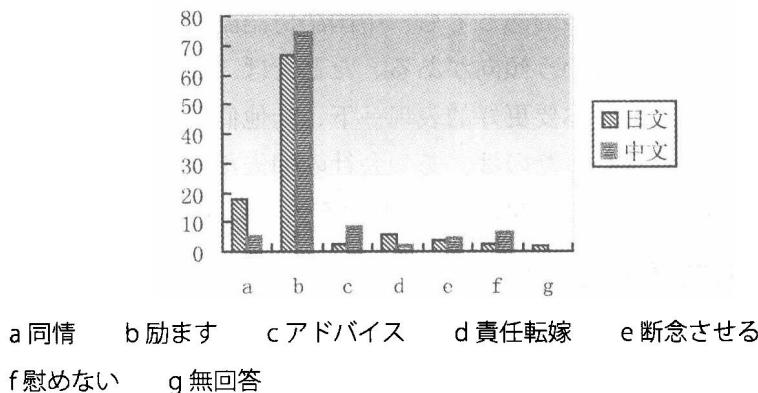
	20代		30代		40代		50代以上		合计	
中国人	女21	男7	女22	男18	女14	男13	女19	男17	女70	男43
	28		40		27		36		133	
日本人	女10	男7	女22	男20	女11	男16	女18	男18	女61	男61
	17		42		27		36		122	

インフォーマントの人数については、日本側・中国側とも、同じ人数、同じ性別、年齢層などで比べるのが望ましいが、日本語の場合は、中国にいる筆者は日本人への調査という制約となるため、人数、各属性は同じものとはならなかった。それにしても、中国語側はできるだけ日本語側の人数に合わせようとした。

4. 場面別による日中の慰めのスタイルについて

4.1 試合に負けた友人に

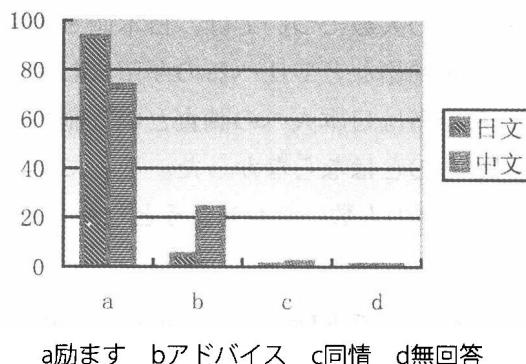
試合に負けた友人への慰めのスタイルとパーセンテージはグラフ1のとおりである。グラフ1で表されているように全体的に日中とも「励ます」という前向きな意見が発話の中心を占める。それに、日本語側は「励ます」のほかに「同情」というスタイルも多く使われているのに対し、中国語側は「励ます」のほかにばらつきが見られる。そして、下位分類には日中の差も見られる。



[グラフ1] 試合に負けた友人への慰めのストラテジーの日中対照

4.2 就職の面接試験を心配している友人に

就職の面接試験の場合は、「慰め」のスタイルが非常に単純である。グラフ2のようである。

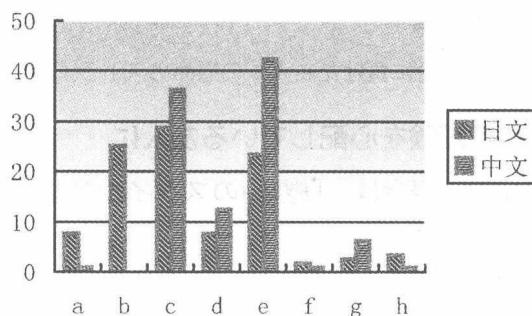


〔グラフ2〕就職の面接試験を心配している友人への慰めのストラテジーの日中対照

日本語のほうは主に「励ます」（93.4%）が使われているのに対し、中国語のほうは主に「励ます」（73.45%）と「アドバイス」（23.89%）が使われている。「励ます」はほとんどは教訓を汲んで今度は成功するように、「アドバイス」は緊張的な心理を克服し、ほかの会社の面接も試してみよう、という旨のものである。同じ「励ます」スタイルであっても、中国語母語話者は日本語母語話者より友人に贊同という傾向がある。たとえば“那个公司没有录用你，是他们的遗憾，你要更好的表现一下，让他们为自己的选择而后悔。”（採用しなかったのは、あの会社の損失だよ。君はかれらの選択を後悔させるような活躍をしてみせるべきよ。）

4.3 すりにすられた友人に

日中それぞれのパーセンテージはグラフ3のようである。



a 感情の表明 b 心配事の尋ね c ポジティブ d ネガティブ e アドバイス

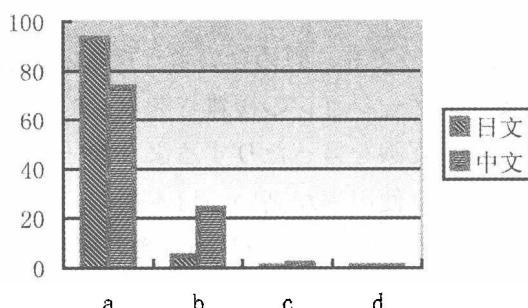
f協力 g慰めない h無回答

[グラフ3] すりにすられた友人への慰めのストラテジーの日中対照

慰めスタイルの中では、「慰めない」というのは、主に冗談と叱責の答えである。中国語側は6.19%の答えに対し、日本語側は2.5%である。日本語では、中国語母語話者の“谁让你不小心呢！这是给你的教训”（気をつけないと、これは教訓だよ）というような友人を叱責する例はめったにない。中国の“打是亲，骂是爱”（打つのは親密で、罵るのは愛情）および日本語の「親しきにも距離があり」は、対照的になるのではないかと思う。中国語の冗談話も中国語の特色がある。たとえば、“祝贺你将拥有一部新手机”（これから新しい携帯を持つことおめでとう），“就当捐给社会了吧”（会社に捧げたと思ってね）など。中国人的なおおらかさを表している。

4.4 好きな人にふられた友人に

日中共通なのは「励ます」というストラテジーを多用していることである。グラフ4のとおりである。



a 励ます b 協力 c 同情 d アドバイス e 慰めない f 責任転嫁 g 無回答

[グラフ4] 好きな人にふられた友人への慰めのストラテジーの日中対照

日本語的回答と比べると、中国語のほうはなんだかくどく、冗長な回答が多い。たとえば、“失恋算什么，他不要你，说明他这辈子没那福气，你人多好，心细、温柔、心地善良，又开朗大方，配个他那样的绰绰有余，你应该高兴他现在就和你分手了。你想，如果他跟你结婚了，他才抛弃你，那岂不是更惨、更不划算吗？他既然这么没眼光，选择放弃你，证明他配不上你。‘天涯何处无芳草’？你别想

他了，肯定會遇上一个比他强几百倍的。旧的不去，新的不来嘛！”のような長い話が少なくない。日本語の「そんなことないよ。いい出会いがきっとあるよ」のような短い回答と対照的になる。

5. 全体的な使用傾向

異文化コミュニケーション・ギャップを明らかにするために、2次調査として、中国人母語話者の回答も日本の知人、友人に、日本人母語話者の回答も中国の知人、友人にみてもらって狭い範囲でのご意見を聞いた。つぎは、日本語と中国語の慰めことばの全体的使用傾向を述べながら、相違点によるコミュニケーション・ギャップも考えていく。

(1) 日本語側は「励ます」と「同情」に集中している（ただし、すりにすられた友人にという場面は例外で、「心配事の尋ね」と「アドバイス」に集中している）。一方、中国語のほうは「励ます」がいちばん多く使われるほかに、その他のスタイルの使用率にばらつきが見られる。

(2) 慰めことばといっても、慰めないようなものを示す言語表現が見られる。コミュニケーションの複雑さを表している。中国語では、相手を叱ったり、冗談を言ったりするような一見して相手を慰めない表現は日本語より使用率が高い。日本語の「親しみにも礼儀ある」、中国語では“打是亲，骂是爱”的意識の現われであろう。

中国式の冗談は異文化コミュニケーションでは、場合によって不快を招くおそれがある。たとえば“是不是做什么坏事了，这么背啊”（なにかわるいことをしたせいで、罰にあたったのか）などは、冗談で雰囲気を和らげようとするためであるが、異文化コミュニケーションの場合、人の不幸を看に楽しまれているような気にさせて、反感を招いたり、腹を立たせるときがあることを否めない。

(3) 「樂天性」は中国人が日本人より強く表していると思う。回答率の高いことわざから窺うことができるのだろうか。“胜败乃兵家常事”（場面1），“塞翁失马，焉知非福”（場面2），“破財

免灾”（場面3），“天涯何处无芳草”（場面4）などはその表れであろう。

(4) 日本語母語話者は平易で分かりやすい表現が好まれるのに対し、中国語母語話者はことわざ（俚諺、名言、言い伝え）などを入れて会話することが多い。こういう差異で、中国人はなにげなく使っていることわざなどは、日本人から見ると場合によっては説教口調のように取られるか、あいつはキザな奴だと見られかねない。

(6) 中国語側は日本語より友人贊頤という傾向から、日本語はある出来事、事象を「状態」という観点から捉え、その状態を同定するというストラテジーの使用頻度が高い、つまり客観的に把握するという傾向があるのに対し、中国語のほうは日本語よりやや主観的で、相手の状況をいち早く認め、自分の味方役を相手に伝えるという特徴が見られる。日本語のほうは中国人になんだか冷淡に聞こえるおそれがある。

(7) 男女差としては、中国語より日本語のほうが顕著である。日本語の場合、男性は慰めないような冗談を使うが、女性は使わない。中国語の場合は、男女を問わず、親しい人にふざけていることばを言う。

(8) 発話量の考察としては、日本語より中国語のほうが多い。

6. 終わりに

慰めことばとしては、日中共通なところが見られる。たとえば、「励ます」は、日中双方ともいちばん多く使われているスタイルであることがわかった。文化上の連帯性もある程度見られるわけだと思われる。一方、文化によって異なる慰めのことばをかけるところも少なくない。

これから課題に関して、データ収集の方法論や分析方法について、多くの課題を残している。アンケート調査としても、友人へのなぐさめことばに限定されたが、上下関係、親疎関係、接触場面などもっと広い範囲の考察が必要である。これからの課題となる。